



学校だより

みどりの

6月号

一人一人の笑顔輝くみどりっ子 ~私も大切 あなたも大切~

- 考え伝え合う子
- 心豊かな子
- 元気な子
- やりぬく子

令和8年6月1日

行事で育つ子どもたち

校長 大塚 恭子

1学期も折り返し地点となりました。子どもたちは、日頃の学習や生活に加え、さまざまな行事を通して成長しています。まさに、「子どもは行事で育つ」です。行事にも、遠足、宿泊自然教室(5年生)、運動会などがありますが、今号は、6年生の修学旅行を例に述べたいと思います。

【出発式】5月12日(火)の朝、私から次のような話をしました。

- ①この2日間を「本物」に出会う旅にしてください。今は情報や映像で多くのことを知ることができますが、実際その場に行き、「本物」に五感で触れ、感じる体験は、決して代わることでできない貴重なものです。皆さんがこれまで学んできたことを確かめるとともに、新しい発見をしてきてください。
- ②寝食を共にする中で、友達の良いところをたくさん見つけてください。これまで気づかなかった友達の優しさや思いやり、新たな一面に出会うことができると思います。楽しい思い出を作って、絆を深めてください。

朝早かったにも関わらず、しっかりとした眼差しで話を聞いてくれました。

華厳の滝や足尾銅山、輪王寺、日光東照宮見学、そして益子焼の絵付け体験。

本物に触れたときの子どもたちの表情は驚きや感動に満ち、生き生きとしていました。さまざまな体験を通して、子どもたちが主体的に学びを深めている姿が多く見られました。



修学旅行は、「人との関わり、本物に触れる体験、自律と成長」を同時に得る貴重な機会です。家族と離れ、友達と過ごす2日間は、相手を思いやる心や感謝の気持ち、そして協力することの大切さを学ぶよい機会となりました。集団行動やルールを守る経験を通して、自分で考えて行動する力や責任感も育ったことと思います。

「行事で育つ」とは、当日はもちろんのこと、事前事後の教師からの良質な働きかけが欠かせません。事前指導では、まず教師自身が行事に込めた思いを熱意をもって語り、子どもの心に灯をともしことを大切にしています。そして、この行事を通してどのように成長してほしいのかという願いを、子どもたちにしっかりと伝えていきます。また、行事の中で子どもたちに任せる部分を明確にし、映像や写真などを活用しながら活動の様子を伝えることで、「やってみたい」「楽しみだ」という気持ちを高めていきます。子どもたちのワクワクした思いは、大きな成長への原動力となります。

行事は「やって終わり」ではありません。事後指導を通して、自分たちの成長や仲間とのつながりを振り返ることで、学びをより確かなものにしていきます。

私たちは、「行事=成長のチャンス」と捉え、これからも子どもたち一人一人の力をしっかりと伸ばしていきたいと考えています。